# 令和5年度 尾瀬傷病事故統計

(尾瀬山の鼻・尾瀬沼ビジターセンター傷病記録等から) ※ビジターセンター未対応の傷病事故は含まれません



(R5.5.27 消防隊に協力して救助活動を行う)

令和 5 年度 12 月公益財団法人 尾瀬保護財団

# 目 次

1	入山者数の状況	1
2	傷病事故の発生状況	1
(1	)年度別発生状況	2
(2	)地区別発生状況	3
(3	)原因別発生状況	3
(4	)時期別発生状況	4
(5	) 月別発生状況	4
(6	)年齢別・男女別発生状況	4
(7	)傷病者の居住地別発生状況	5
(8	) グループ人数別発生状況	5
(9	)傷病事故の通報状況	6
3	救助活動	6
(1	) 救助出動状況	6
(2	) ヘリコプター要請状況	7

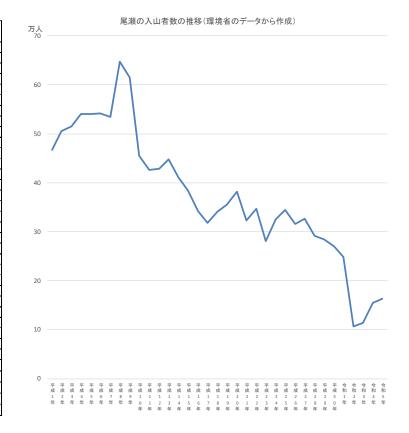
# 1 入山者数の状況

尾瀬が利用できる季節は道路開通後であり、おおよそ5月の大型連休後から10月末までであるが、同期間に環境省が各登山口に登山者カウンターを設置し、年間の尾瀬入山者数を計測している。この結果によれば、尾瀬の入山者は平成2年度から平成7年度まで50万人台前半で推移し、平成8,9年度は60万人台前半まで増加した。こうした利用者数の増加により、尾瀬の生態系への影響が懸念されたが、平成10年度には景気低迷などの影響から入山者数は約46万人に減少し、平成14年度までに40万人台で推移し、平成17年度には平成元年度からの計測以来最低の約31万8千人となった。

平成 20 年度以降は尾瀬国立公園の拡張エリアを含めての数値だが、平成 23 年度には東日本大震災やそれに伴う原子力発電所の事故、また同年 7~9 月にかけて尾瀬や周辺の集中豪雨による木道流失・通行止め等が影響し、28 万 1 千人と計測以来初の 30 万人を下回る結果となったものの、その後平成 27 年度まで 30 万人前半をほぼ横ばいで推移していたが、28 年度以降再び 20 万人台に減少している。

令和2年度に発生した世界的な新型コロナウィルス(covid 19)蔓延による緊急事態宣言等により入山者は激減したが、令和5年度に入りコロナウィルスの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、尾瀬の入山者数も回復傾向を示している。

年度 人山者数 (人) 対前年比  平成 1 年 467,090  平成 2 年 505,840 108.3%  平成 3 年 515,090 101.8%  平成 4 年 539,790 104.8%  平成 5 年 540,264 100.1%  平成 6 年 542,058 100.3%  平成 7 年 534,196 98.5%  平成 8 年 647,523 121.2%  平成 9 年 614,317 94.9%  平成 10 年 455,409 74.1%  平成 11 年 425,807 93.5%  平成 12 年 428,446 100.6%  平成 13 年 448,041 104.6%  平成 13 年 448,041 104.6%  平成 14 年 409,942 91.5%  平成 16 年 341,558 88.9%  平成 17 年 317,847 93.1%  平成 18 年 341,369 107.4%  平成 19 年 354,901 104.0%  平成 20 年 381,700 107.6%  平成 21 年 322,800 84.6%  平成 22 年 347,000 107.5%  平成 23 年 281,300 81.1%  平成 25 年 344,200 105.9%  平成 27 年 326,100 103.4%  平成 27 年 326,100 103.4%  平成 29 年 284,390 91.6%  平成 29 年 284,390 97.4%  平成 30 年 269,700 94.8%  令和1年 247,700 91.8%  令和1年 247,700 91.8%  令和1年 247,700 91.8%  令和1年 247,700 91.8%	大山岩	Rom		
平成 2 年 505, 840 108.3% 平成 3 年 515, 990 101.8% 平成 4 年 539, 790 104.8% 平成 5 年 540, 264 100.1% 平成 6 年 542, 058 100.3% 平成 7 年 534, 196 98.5% 平成 8 年 647, 523 121.2% 平成 9 年 614, 317 94.9% 平成 10年 455, 409 74.1% 平成 11年 425, 807 93.5% 平成 12年 428, 446 100.6% 平成 13 年 448, 041 104.6% 平成 13 年 448, 041 104.6% 平成 15年 384, 251 93.7% 平成 16年 341, 558 88.9% 平成 17年 317, 847 93.1% 平成 19年 344, 369 107.4% 平成 19年 344, 369 107.4% 平成 19年 334, 369 107.4% 平成 20年 381, 700 107.6% 平成 21年 322, 800 84.6% 平成 22年 347, 000 107.5% 平成 23年 281, 300 81.1% 平成 24年 324, 900 115.5% 平成 25年 344, 200 105.9% 平成 25年 344, 200 105.9% 平成 27年 326, 100 103.4% 平成 29年 284, 390 97.4% 中成 29年 284, 390 97.4%	年	度		対前年比
平成3年 515,090 101.8% 平成4年 539,790 104.8% 平成5年 540,264 100.1% 平成5年 542,558 100.3% 平成7年 534,196 98.5% 平成8年 647,523 121.2% 平成9年 614,317 94.9% 平成10年 455,409 74.1% 平成11年 425,807 93.5% 平成12年 428,446 100.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和12年 106,922 43.2% 令和12年 106,922 18.60	平 成	1年	467, 090	
平成 4 年 539, 790 104.8% 平成 5 年 540, 264 100.1% 平成 6 年 542, 058 100.3% 平成 7 年 534, 196 98.5% 平成 8 年 647, 523 121.2% 平成 9 年 614, 317 94.9% 平成 10 年 455, 409 74.1% 平成 11 年 425, 807 93.5% 平成 12 年 428, 446 100.6% 平成 13 年 448, 041 104.6% 平成 13 年 448, 041 104.6% 平成 14 年 409, 942 91.5% 平成 15 年 384, 251 93.7% 平成 16 年 341, 558 88.9% 平成 17 年 317, 847 93.1% 平成 19 年 354, 901 104.0% 平成 19 年 354, 901 107.6% 平成 20 年 381, 700 107.6% 平成 21 年 322, 800 84.6% 平成 22 年 347, 000 107.5% 平成 23 年 281, 300 81.1% 平成 24 年 324, 900 115.5% 平成 25 年 344, 200 105.9% 平成 26 年 315, 400 91.6% 平成 27 年 326, 100 103.4% 平成 28 年 291, 860 89.5% 平成 29 年 284, 390 97.4% 平成 29 年 284, 390 97.4% 平成 29 年 284, 390 97.4% 平成 29 年 287, 700 91.8% 令和1年 247, 700 91.8% 令和1年 247, 700 91.8% 令和1年 247, 700 91.8% 令和1年 106, 922 43.2% 令和1年 113, 795 106.4%	平 成	2年	505, 840	108.3%
平成 5 年 540, 264 100. 1% 平成 6 年 542, 058 100. 3% 平成 7 年 534, 196 98. 5% 平成 8 年 647, 523 121. 2% 平成 9 年 614, 317 94. 9% 平成 10 年 455, 409 74. 1% 平成 11 年 425, 807 93. 5% 平成 12 年 428, 446 100. 6% 平成 13 年 448, 041 104. 6% 平成 15 年 384, 251 93. 7% 平成 16 年 341, 558 88. 9% 平成 17 年 317, 847 93. 1% 平成 19 年 354, 901 104. 0% 平成 20 年 381, 700 107. 6% 平成 21 年 322, 800 84. 6% 平成 22 年 347, 000 107. 5% 平成 23 年 281, 300 81. 1% 平成 24 年 324, 900 115. 5% 平成 25 年 344, 200 105. 9% 平成 26 年 315, 400 91. 6% 平成 27 年 326, 100 10. 103. 4% 平成 28 年 291, 860 89. 5% 平成 29 年 284, 390 97. 4%  中成 29 年 284, 390 97. 4%  中成 30 年 269, 700 94. 8%  今和1年 247, 700 91. 8%  今和2年 106, 922 43. 2%  令和3年 113, 795 106. 4% 令和4年 154, 724 136. 0%	平 成	3年	515, 090	101.8%
平成6年 542,058 100.3% 平成7年 534,196 98.5% 平成8年 647,523 121.2% 平成9年 614,317 94.9% 平成10年 455,409 74.1% 平成11年 425,807 93.5% 平成12年 428,446 100.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4%	平 成	4年	539, 790	104.8%
平成7年 534, 196 98.5% 平成8年 647, 523 121.2% 平成9年 614, 317 94.9% 平成10年 455, 409 74.1% 平成11年 425, 807 93.5% 平成12年 428, 446 100.6% 平成13年 448, 041 104.6% 平成13年 448, 041 104.6% 平成15年 384, 251 93.7% 平成16年 341, 558 88.9% 平成17年 317, 847 93.1% 平成19年 354, 901 104.0% 平成20年 381, 700 107.6% 平成21年 322, 800 84.6% 平成22年 347, 000 107.5% 平成24年 324, 900 115.5% 平成25年 344, 200 105.9% 平成26年 315, 400 91.6% 平成27年 326, 100 103.4% 平成29年 284, 390 97.4% 中成29年 284, 390 97.4% 中成30年 269, 700 94.8% 令和12年 106, 922 43.2% 令和3年 113, 795 106.4% 令和4年 154, 724 136.0%	平 成	5年	540, 264	100.1%
平成8年 647,523 121.2% 平成9年 614,317 94.9% 平成10年 455,409 74.1% 平成11年 425,807 93.5% 平成12年 428,446 100.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成13年 344,558 88.9% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成22年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4%	平 成	6年	542, 058	100.3%
平成9年 614, 317 94.9% 平成10年 455, 409 74.1% 平成11年 425, 807 93.5% 平成12年 428, 446 100.6% 平成13年 448, 041 104.6% 平成15年 384, 251 93.7% 平成15年 384, 251 93.7% 平成16年 341, 558 88.9% 平成17年 317, 847 93.1% 平成18年 341, 369 107.4% 平成19年 354, 901 104.0% 平成20年 381, 700 107.6% 平成22年 347, 000 107.6% 平成22年 347, 000 107.5% 平成23年 281, 300 81.1% 平成24年 324, 900 115.5% 平成25年 344, 200 105.9% 平成27年 326, 100 103.4% 平成27年 326, 100 103.4% 平成28年 291, 860 89.5% 平成29年 284, 390 97.4% 平成30年 106, 922 43.2% 令和14年 113.795 106.4% 令和4年 154, 724 136.0%	平 成	7年	534, 196	98.5%
平成10年 455, 409 74.1% 平成11年 425, 807 93.5% 平成12年 428, 446 100.6% 平成13年 448, 041 104.6% 平成15年 384, 251 93.7% 平成16年 341, 558 88.9% 平成16年 341, 558 88.9% 平成19年 354, 901 104.0% 平成20年 381, 700 107.6% 平成21年 322, 800 84.6% 平成21年 322, 800 84.6% 平成22年 347, 000 107.5% 平成23年 281, 300 81.1% 平成24年 324, 900 115.5% 平成25年 344, 200 105.9% 平成26年 315, 400 91.6% 平成27年 326, 100 103.4% 平成29年 284, 390 97.4% 平成30年 106, 922 43.2% 令和1年 247, 700 91.8% 令和2年 106, 922 43.2% 令和3年 113, 795 106.4% 令和4年 154, 724 136.0%	平 成	8年	647, 523	121.2%
平成11年 425,807 93.5% 平成12年 428,446 100.6% 平成13年 448,441 104.6% 平成13年 449,942 91.5% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成19年 334,369 107.4% 平成19年 334,369 107.6% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 221,300 81.1% 平成23年 221,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成29年 284,390 97.4%	平 成	9年	614, 317	94.9%
平成12年 428,446 100.6% 平成13年 448,041 104.6% 平成13年 449,942 91.5% 平成14年 409,942 91.5% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成22年 344,200 105.9% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8%	平 成	10年	455, 409	74.1%
平成13年 448,041 104.6% 平成14年 409,942 91.5% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成22年 347,000 107.5% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成29年 284,390 97.4%	平 成	11年	425, 807	93.5%
平成14年 409,942 91.5% 平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 106,922 43.2% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	12年	428, 446	100.6%
平成15年 384,251 93.7% 平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 106,922 43.2% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4%	平成	13年	448, 041	104.6%
平成16年 341,558 88.9% 平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成23年 281,300 81.1% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 中成16年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	14年	409, 942	91.5%
平成17年 317,847 93.1% 平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成22年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 中成27年 326,100 103.4% 中成37年 113,795 106.4% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	15年	384, 251	93.7%
平成18年 341,369 107.4% 平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平 成	16年	341, 558	88.9%
平成19年 354,901 104.0% 平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成25年 344,200 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 106,922 43.2% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平 成	17年	317, 847	93.1%
平成20年 381,700 107.6% 平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成23年 281,300 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成27年 326,100 103.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	18年	341, 369	107.4%
平成21年 322,800 84.6% 平成22年 347,000 107.5% 平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 105.9% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	19年	354, 901	104.0%
平成 22 年 347,000 107.5% 平成 23 年 281,300 81.1% 平成 24 年 324,900 115.5% 平成 25 年 344,200 105.9% 平成 26 年 315,400 91.6% 平成 27 年 326,100 103.4% 平成 28 年 291,860 89.5% 平成 29 年 284,390 97.4% 平成 30 年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和1年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平 成	20 年	381, 700	107.6%
平成23年 281,300 81.1% 平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平成	21年	322, 800	84.6%
平成24年 324,900 115.5% 平成25年 344,200 105.9% 平成26年 315,400 91.6% 平成27年 326,100 103.4% 平成28年 291,860 89.5% 平成29年 284,390 97.4% 平成30年 269,700 94.8% 令和1年 247,700 91.8% 令和2年 106,922 43.2% 令和3年 113,795 106.4% 令和4年 154,724 136.0%	平 成	22年	347, 000	107.5%
平成 25 年 344, 200 105. 9% 平成 26 年 315, 400 91. 6% 平成 27 年 326, 100 103. 4% 平成 28 年 291, 860 89. 5% 平成 29 年 284, 390 97. 4% 平成 30 年 269, 700 94. 8% 令和1年 247, 700 91. 8% 令和2年 106, 922 43. 2% 令和3年 113, 795 106. 4% 令和4年 154, 724 136. 0%	平 成	23年	281, 300	81.1%
平成 26年 315, 400 91.6% 平成 27年 326, 100 103.4% 平成 28年 291, 860 89.5% 平成 29年 284, 390 97.4% 平成 30年 269, 700 94.8% 令和1年 247, 700 91.8% 令和3年 113, 795 106.4% 令和4年 154, 724 136.0%	平成	24年	324, 900	115.5%
平成 27 年 326, 100 103. 4% 平成 28 年 291, 860 89. 5% 平成 29 年 284, 390 97. 4% 平成 30 年 269, 700 94. 8% 令和1年 247, 700 91. 8% 令和2年 106, 922 43. 2% 令和3年 113, 795 106. 4% 令和4年 154, 724 136. 0%	平 成	25 年	344, 200	
平成 28 年 291, 860 89.5% 平成 29 年 284, 390 97.4% 平成 30 年 269, 700 94.8% 令和1年 247, 700 91.8% 令和2年 106, 922 43.2% 令和3年 113, 795 106.4% 令和4年 154, 724 136.0%	平 成	26 年	315, 400	91.6%
平成 29 年 284, 390 97. 4% 平成 30 年 269, 700 94. 8% 令和1年 247, 700 91. 8% 令和2年 106, 922 43. 2% 令和3年 113, 795 106. 4% 令和4年 154, 724 136. 0%	平 成	27 年	326, 100	103.4%
平成30年     269,700     94.8%       令和1年     247,700     91.8%       令和2年     106,922     43.2%       令和3年     113,795     106.4%       令和4年     154,724     136.0%			291, 860	89.5%
令和1年     247,700     91.8%       令和2年     106,922     43.2%       令和3年     113,795     106.4%       令和4年     154,724     136.0%	平 成	29 年	284, 390	97.4%
令和2年     106,922     43.2%       令和3年     113,795     106.4%       令和4年     154,724     136.0%	平 成	30年	269, 700	94.8%
令和3年     113,795     106.4%       令和4年     154,724     136.0%	令和	11年	247, 700	91.8%
令和3年     113,795     106.4%       令和4年     154,724     136.0%				
令和4年 154,724 136.0%	<b>令和</b>	13年	113, 795	106.4%



# 2 傷病事故の発生状況

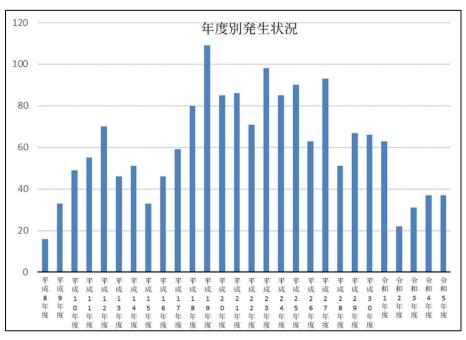
令和5年度に公益財団法人尾瀬保護財団(以下、当財団とする)が管理を受託した尾瀬山の鼻ビジターセンター(群馬県より管理受託)及び尾瀬沼ビジターセンター(環境省より管理受託)において、職員が対応を行ったものについて作成した。

# (1) 年度別発生状況

令和 5 年度に当財団が管理する尾瀬山の鼻ビジターセンター及び尾瀬沼ビジターセンター職員が対応した傷病事故は37件で昨年と同数であった。

年度別発生状況

年度方			, <u>u</u>	区分	発生件数			易病者内部	7	
年度		\			(件)	死亡	病気	行方不明	負傷	その他
平	成	8	年	度	16				16	
平	成	9	年	度	33	2			31	
平	成	10	年	度	49	4			45	
平	成	11	年	度	55	1			54	
平	成	12	年	度	70	2			68	
平	成	13	年	度	46				46	
平	成	14	年	度	51	2			49	
平	成	15	年	度	33	1			32	
平	成	16	年	度	46	1			45	
平	成	17	年	度	59				59	
平	成	18	年	度	80	3			77	
平	成	19	年	度	109	1			94	14
平	成	20	年	度	85	1			73	11
平	成	21	年	度	86	1			70	15
平	成	22	年	度	71				58	13
平	成	23	年	度	98		4		69	25
平	成	24	年	度	85	1	3	1	62	18
平	成	25	年	度	90				77	13
平	成	26	年	度	63				61	2
平	成	27	年	度	93		4		69	20
平	成	28	年	度	51		3		41	7
平	成	29	年	度	67	1	9	2	51	4
平	成	30	年	度	66	1	6		59	
令	和	1	年	度	63		5		58	
令	和	2	年	度	22	1			21	
令	和	3	年	度	31		1		27	3
令	和	4	年	度	37	1	5		28	3
令	和	5	年	度	37		2		34	1



# (2) 地区別発生状况

地区別では鳩待峠~山ノ鼻間が一番多く発生し全体の 43.2%となった。全体の入山 者数に比例して傷病も増減する傾向であるが、入山口の利用数にもこの傾向が当ては まるようだ。

地区別傷病発生件数(R5年5月~10月)

地区別場例光生件数(10年3月~10月					·			1
区分	発生件数	発生比率			病者内			(参考)令和4
地区	(件)	九工和干	死亡	病気	行方不明	負傷	その他	年度
鳩 待 峠 ~ 山 ノ 鼻 ( VC 周 辺 含)	16	43.2%				15	1	20
尾瀬ヶ原 (研究見本園含)	10	27.0%				10		6
大江湿原~尾瀬沼北岸(100周辺含)								3
三 平 下 ~ 大 江 湿 原								
三 平 下 ~ 尾 瀬 沼 南 岸	1	2.7%				1		2
沼 山 峠 ~ 大 江 湿 原	2	5.4%				2		1
大 清 水 ~ 尾 瀬 沼	1	2.7%				1		
沼 尻 ~ 見 晴								5
見晴~御池(平滑ノ滝、三条ノ滝含)	1	2.7%				1		
至 仏 山								
燧ケ岳	3	8.1%				3		
アヤメ平								
そ の 他	2	5.4%		1		1		
不明	1	2.7%		1				
合 計	37	100%	·	2		34	1	37

### (3) 原因別発生状況

傷病事故に至った原因では、木道での転倒・転落による事故が28件で、全体の75.7%と過半数を占め、前年度の56.7%と比較すると増加傾向である。原因は写真撮影や景色を眺めるなどよそ見による足の踏み外し、雨や雪などで滑ったことによる転倒等様々である。木道は、高架や段差・階段になっている場所もあり、ちょっとした気の緩みが命に関わる大事故にもつながりかねない。また、疲労などで歩行困難になる事例も見受けられ、日常生活での体調管理や無理な行程に起因する場合も多く、ゆとりをもった行動と装備は不可欠であるとともに、自身の体力を過信しないことが重要である。

事故の多くが、入山者の気の緩みや不注意から生じており、尾瀬利用者への注意喚起を行う等の呼びかけに力を入れていく必要がある。

原因別発生状況 (R5年5月~10月)

						区分	発生			傷	易病者内部	尺			
			_				件数	#: <del>*</del>	岸层	行方不明	負	傷	その	の他	(参考)令和4 年度
原因							(件)	死亡	病気	1177/1191	自力下山	搬送	自力下山	搬送	
木	: 道		Ŀ	の	転	倒	28				19	9			21
步	道		Ŀ	の	転	倒	5				4	1			2
病	İ					気	1		1						4
疲	. 労			低	体	温	2		1				1		4
落	-					石									
道	Ì		送	<u>K</u>		7.7									
雪	崩		1	] 渓	崩	落									
落	-					雷									
徒	涉 /	夫 敗	(	よそ	見	等 )									2
そ	•		O.	)		他	1				1				4
不	:					明	·								
台						計	37		2		24	10	1		37

<sup>\*</sup>疲労・低体温:体調不良やふらつきなど \*自力下山か搬送かは救助隊出動の有無

# (4) 時期別発生状況

先シーズンと同様の傾向で発生している。秋は木道上で滑って転倒するケースが多いため、雨や霜などで木道が滑りやすくなっている場合には、特に注意が必要である。

時期別発生状況 (R5年5月~10月)

ы //	発生			傷	<b>暴病者内</b> 語	尺			
区分	件数	死亡	病気	行方不明	負傷		その他		(参考) 令和4年度
時期	(件)	9Ľ L	物风	11 /) /\'\	自力下山	搬送	自力下山	搬送	
春(4.5.6月)	14				8	6			16
夏(7·8月)	9		1		6	2			9
秋 (9・10・11月)	14		1		10	2	1		12
計	37		2		24	10	1		37

# (5) 月別発生状況

月別ではさほど発生件数の差はないが、搬送対象となる重傷ケースが多かったのは5月で、7件中5件が搬送され、その内3件はヘリコプターでの搬送となった。

多くの転倒・転落負傷の原因と考えられるのは、よそ見や写真撮影、会話に夢中になり すぎた事や、無理な行程による疲労などが挙げられる。

月別発生状況 (R5 年5月~10月)

区分	発生			傷	易病者内部	沢			
$  \ \  $	件数	ѫᅶ	定层	行方不明	負	傷	その	の他	(参考) 令和4年度
月	(件)	死亡	病気	11 // 1591	自力下山	搬送	自力下山	搬送	
4月									
5月	7				2	5			7
6月	7				6	1			9
7月	5				5				5
8月	4		1		1	2			4
9月	6		1		4	1			4
10月	8				6	1	1		8
11月	·								
合 計	37		2		24	10	1		37

# (6) 年齢別・男女別発生状況

年齢別では、30代以下が10.8%、40代以上が86.5%と、中高年の傷病事故割合が圧倒的に高い。この年代は救助隊によって搬送される重傷のケースも多い。

年代別·性別発生状況

+ I(M)	1-11/4	リルエ								1				
	_		区分	発生			令和5年					令和4年		
		\		件数	身	-	7	ζ	男女計	身	<b></b>	\$	女	
年齢				(件)	(件数)	比率(%)	(件数)	比率(%)	(%)	(件数)	比率(%)	(件数)	比率(%)	(%)
20	歳	未	満	2	1		1			2		3		
20			代			5.4%		5. 4%	10.8%		5. 4%		13.5%	18.9%
30			代	2	1		1					2		
40			代	3			3			1				
50			代	5	1	51.4%	4	35.1%	86. 5%	2	48.6%	5	32.4%	81. 1%
60			代	16	11	31.4%	5	33.1%	00. 5%	7	40.0%		32.4%	01.1%
70	歳	以	上	8	7		1			8		7		
不			明	1			1	2.7%	2.7%					
合			計	37	21	56.8%	16	43.2%	100%	20	54.1%	17	45.9%	100%
						37	7				37	7		

# (7) 傷病者の居住地別発生状況

例年同様に、東京都・を中心とした関東圏が大半を占めている。尾瀬入山者の居住地 別割合をそのまま反映した結果と思われるが、気軽な登山と油断してしまうことも原 因と考えられ、時間や体力を考慮した計画と事前の準備が必要である。

都道府県別

<u> </u>	<b></b>										
	_	区分			傷	<b>弱病者内</b> 詞	尺				
			T -	产与	<b>たナナ</b> 畑	負	傷	その	)他	合計	(参考) 令和4年度
都道府	県		死亡	病気	行方不明	自力下山	搬送	自力下山	搬送		
福	島	県					1			1	2
茨	城	県					2			2	1
栃	木	県									2
群	馬	県		1		3				4	3
埼	玉	県				1	1			2	3
千	葉	県				1	1			2	4
東	京	都				8	1			9	5
神	奈 川	県				4		1		5	9
新	潟	県		1		1	1			3	1
静	岡	県				1				1	
愛	知	県				1				1	1
三	重	県				1				1	
大	阪	府				2				2	
兵	庫	県					1			1	
奈	良	県									1
福	岡	県									1
大	分	県									1
宮	崎	県				1				1	1
海		外					1			1	1
不		明					1			1	2
	合計			2		24	10	1		37	37

### (8) グループ人数別発生状況

前年度と同様、本年度もグループの事故発生率が高い結果となった。ツアーについては、ガイドによる安全管理ができているツアーもあるが、ガイドも添乗もないツアーもあり、安全管理に課題もある。

傷病事故発生時に手当やレスキューを真っ先に行うのは、同行者であることが多いが、重度の傷病事故の場合にはセルフレスキューが困難であることから、単独行は十分な注意が必要である。

		区分	発生			傷	易病者内語	沢			U. <del>⊅.</del>	
			件数	死亡	岸层	行方不明	負	傷	その	り他	比率 (%)	(参考) 令和4年度
形態			(件)	9E L	病気	11 /) / ١٠١/	自力下山	搬送	自力下山	搬送	(70)	
単		独	11				9	2			29.7%	9
グ	ルー	プ	23		1		14	7	1		62.2%	23
ツ	ア	Í	2				1	1			5.4%	5
学		校	1		1						2.7%	
不	•	明	·	•								
合		計	37		2		24	10	1		100%	37

# (9) 傷病事故の通報状況

今年度の通報は、傷病者本人または同行者がビジターセンターや山小屋へ来所し、口頭で行っている。尾瀬では、携帯電話の通話エリア圏外の場合、最寄りの有人施設に駆け込む必要があり、そこからビジターセンターへ連絡が入ることもある。近年、携帯電話のエリア内であった場合、当事者が直接救急要請する事例も増えている。

			区公			通報者				ᄔᄼᅑ	(参考)
通報	~~ 報方法		区分	本人	同行者	他人	山小屋	その他	合計	比率 (%)	(参考) 令和3年度
			頭	3	15	2		5	25	86%	100%
携	帯	電	話				3		3	10%	
電			話								
無			線					1	1		
そ	の		他								
合			計	3	15	2	3	6	29	100%	100%
比	•		率	10%	52%	7%	10%	21%	100%		

<sup>\*</sup>山小屋・救助隊:ビジターセンター職員対応のものも含める

### 3 救助活動

### (1) 救助出動状況

ビジターセンター職員は救助隊の緊急要員としても出動している。

傷病者対応時の出動状況

物州   7	3 刈り	7.144	V) Щ	助 1八 7亿					
年度	\	_	出重	動区分	消防 警備隊 (件)	救助隊 (件)	ビジター センター (人)	一般 (人)	発生件数 (件)
平	成	15	年	度	8	10	19		33
平	成	17	年	度	16	12	35		59
平	成	18	年	度	17	22	77		80
平	成	19	年	度	10	18	106	2	109
平	成	20	年	度	15	12	68		85
平	成	21	年	度	16	18	86	1	86
平	成	22	年	度	21	22	69		71
平	成	23	年	度	15	15	98		98
平	成	24	年	度	16	19	85		85
平	成	25	年	度	7	16	87		90
平	成	26	年	度	12	12	63		63
平	成	27	年	度	19	24	68	1	93
平	成	28	年	度	9	8	39		51
平	成	29	年	度	24	9	58		67
平	成	30	年	度	11	8	61		66
令	和		元	年	14	6	63		63
令	和	1	2	年	3		21		22
令	和	1	3	年	4		38		31
令	和	1	4	年	6	6	62		37
令	和	1	5	年	12	2	60		37

\*消防:防災へリを要請した件数(担架搬送も含める)

\*救助隊:近隣の関係者が出動した人工

\*ビジターセンター職員が関与した人工

H27年度までの救助隊の数は救急車の要請

# (2) ヘリコプター要請状況

今年度のヘリコプター搬送は9件だった。

防災ヘリコプター搬送状況

出動区分					依頼	負傷者	病人等	行方不	遺体	収容人
年度			_		件数	救助	救助	明捜索	収容	数計
平	成	10	年	度	3	3				3
平	成	11	年	度	5	5				5
平	成	12	年	度	7	5	1	1		7
平	成	13	年	度	6	6				6
平	成	14	年	度	6	4	1	1		6
平	成	15	年	度	6	4	1			5
平	成	16	年	度	7	7				7
平	成	17	年	度	12	8	4			12
平	成	18	年	度	8	3	3		2	8
平	成	19	年	度	11	6	4			10
平	成	20	年	度	13	10	3			13
平	成	21	年	度	9	7	2			9
平	成	22	年	度	17	14	3			17
平	成	23	年	度	14	10	4			14
平	成	24	年	度	15	11	2	1	1	15
平	成	25	年	度	7	7				7
平	成	26	年	度	9	8	1			9
平	成	27	年	度	19	14	5			19
平	成	28	年	度	5	4	1			5
平	成	29	年	度	13	7	5		1	13
平	成	30	年	度	11	5	6			11
令			元	年	6	6				6
令	和		2	年	_	_	_	_	_	
令	和	I	3	年	4	4				4
令	和	1	4	年	6	6				6
令	和	Ī	5	年	12	7	2			9

※尾瀬山の鼻VC、尾瀬沼VCで対応した件数